

協議

(2) 令和4年度森林環境譲与税関連予算(案)について

【提案理由】

令和4年度における森林環境譲与税の使途について、木材生産と森林保全に向けた取組を推進するため、下記のとおり新規事業の追加及び拡充等の見直しを行うことを提案する。

令和4年度 新規及び拡充予定事業

- ①国庫補助事業「美しい森林づくり基盤整備交付金」を活用した利用間伐に対する嵩上げ支援を追加する。
- ②林齢35年生以下又は胸高直径平均18cm未満の保育間伐に対する嵩上げ支援を追加する。
- ③令和4年度からの山形県とのリモートセンシング調査の共同実施に向けて、航空レーザ測量実施に係る負担金を支出する。
- ④林業事業者が実施する人材育成や研修等への活動に対する補助制度を新設する。

資料 2

令和 4 年度森林経環境譲与税関連予算（案）の概要※参考資料①

4 年度当初予算要求額 216,456 千円（64,515 千円）

・財源内訳	森林環境譲与税	83,198 千円（64,291 千円）
	国庫補助金	24,700 千円（0 千円）
	基金繰入金	108,330 千円（0 千円）
	基金利子	228 千円（224 千円）

・各事項の（ ）内は、令和 3 年度当初予算額

I 木材生産 ※参考資料②

1. 間伐補助の嵩上げ支援【追加拡充】 39,171 千円（1,446 千円）

山形県森林施業支援事業を活用した森林経営計画を有する森林の間伐施業に対する市補助金の嵩上げ支援に加え、令和 4 年度から国庫補助事業「美しい森林づくり基盤整備交付金（補助率 50%）」を活用した利用間伐施業に対する市補助金の嵩上げ支援（補助率 18%）を追加する。

2. 保育補助の嵩上げ支援【追加拡充】 5,795 千円（4,485 千円）

再造林、下刈り、除伐、枝打ち施業に対する市補助金の嵩上げ支援に加え、令和 4 年度から保育間伐に対する市補助金の嵩上げ支援（補助率：経営計画有り 32%、経営計画無し 34%）を追加する。

II 木材生産・森林保全

3. 路網改良・維持管理

①林道災害予防事業【継続】 4,900 千円（4,900 千円）

林道災害の原因となる路面水を除去するための排水設備の設置や、閉塞した側溝の土砂撤去を行う。

②林道改良工事【継続】 1,000 千円（3,000 千円）

大型トラックによる低コストな木材運搬を可能とするため、林道の曲線部の拡幅改良を行う。

③木材搬出道路改良工事【継続】 3,000 千円（1,000 千円）

林道以外の木材搬出道路（市道・農道等）の改良工事を行う。

④作業道機能向上・回復事業費補助金【継続】 1,000 千円（1,000 千円）

林業事業体が管理する既存の作業道における排水設備の設置や拡幅修繕、部分的な線形の変更に必要な経費の 3 分の 1 以内を補助する。

- ⑤竹林整備・活用促進事業【継続】 200千円（200千円）
竹を筒状に束ねた暗渠管を製作し、林道等の排水対策資材として活用する。
4. リモートセンシング調査事業【新規】 108,330千円（0千円）
山形県との共同実施によるリモートセンシング調査事業（航空レーザ計測）に対して負担金を支出する。※参考資料③
5. 森林経営管理制度 意向調査・経営管理権設定【継続】 4,446千円（3,942千円）
森林経営管理制度に基づき、森林所有者の経営管理に対する意向を調査し、市に経営委託を希望する森林の経営管理権を設定する。
6. 森林経営管理制度 人件費【継続】 4,894千円（3,777千円）
森林経営管理制度業務の円滑な執行に資するため、地域林政アドバイザー1名及び会計年度職員1名を雇用する。
7. 林業担い手育成事業【新規】 300千円（0千円）
林業従事者の育成を目的に、林業事業者が行う人材育成や研修等に要する経費に対して支援する。

Ⅲ 森林保全

8. 松枯れ対策事業【継続】 3,000千円（3,000千円）
松くい虫被害により、防風林機能が低下している箇所への植栽、及び高度公益機能林に隣接する2km範囲内の民地内の松くい虫被害木駆除を行う。
9. 森林整備調査研究【継続】 3,000千円（3,000千円）
市有林を活用した森林管理及び整備手法、林床低木類の多用途利用、自生広葉樹人工造林用苗木育成について、山形大学、山形県、鶴岡市との共同研究を実施する。

Ⅳ 基金積立

10. 森林環境譲与税基金積立【継続】 37,420千円（34,765千円）
令和5年度に実施予定のリモートセンシング調査事業（データ解析）の県負担金や森林の境界明確化業務に備えた基金の積み立てを行う。

参考資料① 令和4年度森林環境譲与税譲与税関連予算（案）の概要

令和3年度予算額：64,515千円 ⇒ 令和4年度予算要求額：216,456千円

目 標	①森林資源の循環と木材生産の効率化の推進	← 森林環境譲与税の活用	R10：木材生産量 目標6万㎡ (H29(3万㎡)の2倍を目指す)
	②多面的機能を維持・発揮する森林保全		

現状と課題

- 鶴岡・温海地域は、山林部の地籍調査が未了のため、境界が不明確
- 民有林の約7割が伐期適齢期の状況
- 路網密度が低いため、施業箇所が限定（林道路網密度7.04m/ha 県12位）
- 森林整備が不十分で、多面的機能が低下する懸念

方 向 性

- リモートセンシング調査を活用した境界明確化の実施
- 木材生産を拡大する、間伐・保育等の施業支援制度を拡充
- 木材生産の低コスト化を図るため、路網の新規開設や改良の実施
- 森林の持つ多面的機能を維持するための管理手法の確立
- 地域産材の循環利用に向けた、公共施設の木材利用や木質バイオマス利用の推進

施 策

基盤づくり

①意向を調査
②経営管理を委託

森林所有者 → 市町村 → 林業経営に不適さない森林

意向調査

林業経営に適した森林 → 林業経営者

林業経営に適さない森林 → 市町村管理

リモートセンシング調査

- 空中写真撮影
- 航空レーザ測量

境界明確化・ゾーニング

標高や傾斜、地番ごとの樹木本数や樹高などから、境界明確化や森林の機能別に区分するゾーニングを実施するほか、林業経営に適した森林とそうでない森林を集約化する

譲与税の使途

R4予算要求額 216,456千円（事業費 179,036千円 基金積立額 37,420千円）

木材生産	① 森林整備事業補助の嵩上支援	拡充 44,966千円 (R3 5,931千円)	
	② 公共施設の木材利用	R5～	
	③ 木質バイオマス利用の推進	地域内エコシステム協議会で実施	
森林保全	④ 新規路線開設	—	
	⑤ 路網改良・維持管理	継続 10,100千円 (R3 10,100千円)	
	⑥ リモートセンシング調査	新規 108,330千円 (R3 0千円)	
	⑦ 経営管理制度の推進(意向調査等)	継続 9,340千円 (R3 7,719千円)	
	⑧ 林業担い手育成	新規 300千円 (R3 0千円)	
	⑨ 松枯れ対策	継続 3,000千円 (R3 3,000千円)	
	⑩ 経営に適さない森林の管理	継続 3,000千円 (R3 3,000千円)	
	①～⑩事業費計		179,036千円 (R3 29,750千円)
	基金積立(リモセン調査等に備えた積立)		37,420千円 (R3 34,765千円)

事業効果

本事業実施による森林整備面積の増大：間伐施業面積 約3.1倍（R2比）

市内森林組合又は林業事業者による間伐施業面積
R 2:114ha → R 3:143ha → R 4:348ha（見込）

参考資料①つき 令和4年度 森林環境譲与税関連の取組について

(単位:千円)

方針・使途	施策	令和3年度の取組	R3予算額	令和4年度の取組(案)	R4要求額	増減額
I.木材生産	1. 間伐補助の嵩上げ支援	森林経営計画を有する森林の間伐補助嵩上(32%)	1,446	【継続】 森林経営計画を有する森林の間伐補助嵩上(32%)	5,619	4,173
		—	—	【追加】 美しい森林づくり基盤整備交付金を活用した間伐に対する補助嵩上(18%)	33,552	33,552
	2. 保育補助の嵩上げ支援	再造林に対する補助嵩上(10%) 下刈りに対する補助嵩上(10%、42%) 除伐・枝打ちに対する補助嵩上(32%、84%)	4,485	【追加】 再造林により対する補助嵩上(10%) 下刈りに対する補助嵩上(10%、42%) 除伐・枝打ちに対する補助嵩上(32%、84%) 保育間伐に対する補助嵩上(32%、34%)	5,795	1,310
II.木材生産 ・ 森林保全	3. 路網改良・維持管理	①林道災害予防事業(水路閉塞土砂撤去・横断側溝設置)	4,900	【継続】 ①林道災害予防事業(水路閉塞土砂撤去・横断側溝設置)	4,900	0
		②林道改良工事(曲線部拡幅)	3,000	【継続】 ②林道改良工事(曲線部拡幅)	1,000	▲ 2,000
		③木材搬出道路改良工事(林道以外の拡幅工事)	1,000	【継続】 ③木材搬出道路改良工事(林道以外の拡幅工事)	3,000	2,000
		④作業道機能向上・回復事業費補助金	1,000	【継続】 ④作業道機能向上・回復事業費補助金	1,000	0
		⑤竹林整備・活用促進事業	200	【継続】 ⑤竹林整備・活用促進事業	200	0
	4. リモートセンシング調査事業	—	—	【新規】 山形県航空レーザ測量共同実施負担金 (R4レーザー計測、R5データ解析予定)	108,330	108,330
	5. 森林経営管理制度 意向調査・経営管理権設定	意向調査の外部委託、システム保守、事務費等	3,942	【継続】 意向調査の外部委託、システム保守、事務費等	4,446	504
	6. 森林経営管理制度 人件費	地域林政アドバイザー・会計年度任用職員人件費	3,777	【継続】 地域林政アドバイザー・会計年度任用職員人件費	4,894	1,117
7. 林業担い手育成事業	—	—	【新規】 林業事業者による人材育成や研修等への活動補助金	300	300	
III.森林保全	8. 松枯れ対策事業	・防風林機能が低下している箇所への松の植栽 ・高度公益機能森林に隣接する2km範囲内の民地内の 松くい虫被害木駆除	3,000	【継続】 防風林機能が低下している箇所への松の植栽 ・高度公益機能森林に隣接する2km範囲内の民地内の 松くい虫被害木駆除	3,000	0
	9. 森林整備調査研究	山形県・山形大学との共同研究プロジェクト ・市有林を活用した森林整備の調査研究 ・経営に適さない森林の管理手法の検討他	3,000	【継続】 山形県・山形大学との共同研究プロジェクト ・市有林を活用した森林整備の調査研究 ・経営に適さない森林の管理手法の検討他	3,000	0
IV.基金積立	10. 森林環境譲与税基金積立	リモートセンシング調査や森林の境界明確化に備えた基金積立	34,765	【継続】 リモートセンシング調査や森林の境界明確化に備えた基金積立	37,420	2,655
合計			64,515	合計	216,456	151,941
			譲与税		83,198	18,907
			財源内 国庫補助		24,700	24,700
			基金繰入		108,330	108,330
			基金利子		228	4
			合計		216,456	151,941

【参考】一般財源を活用した関連事業

木材生産	①間伐補助の嵩上	鶴岡市間伐実施推進事業(18%) ※美しい森林づくり基盤整備交付金の間伐に対する補助嵩上	13,391	一廃止	0	▲ 13,391
	②再造林・下刈補助の嵩上	鶴岡市森林再生促進事業(22%)	4,647	【継続】 鶴岡市森林再生促進事業(22%)	6,188	1,541

参考資料② 令和4年度木材生産支援事業見直しの概要

公益的機能の高い健全な森林の育成及び民有林の施業の促進を図るため、森林環境譲与税を活用した鶴岡市森林環境譲与税活用事業について、下記のとおり見直しを行うものです。

1. 間伐補助に対する嵩上げ支援の追加

- ・国庫事業「美しい森林づくり基盤整備交付金（補助率50%）」による利用間伐に対して、「鶴岡市森林環境譲与税活用事業（補助率18%）」による嵩上げ支援を追加する。
- ・上記支援の追加に伴い、これまで実施してきた鶴岡市間伐実施推進事業（補助率18%）は令和3年度で廃止する。

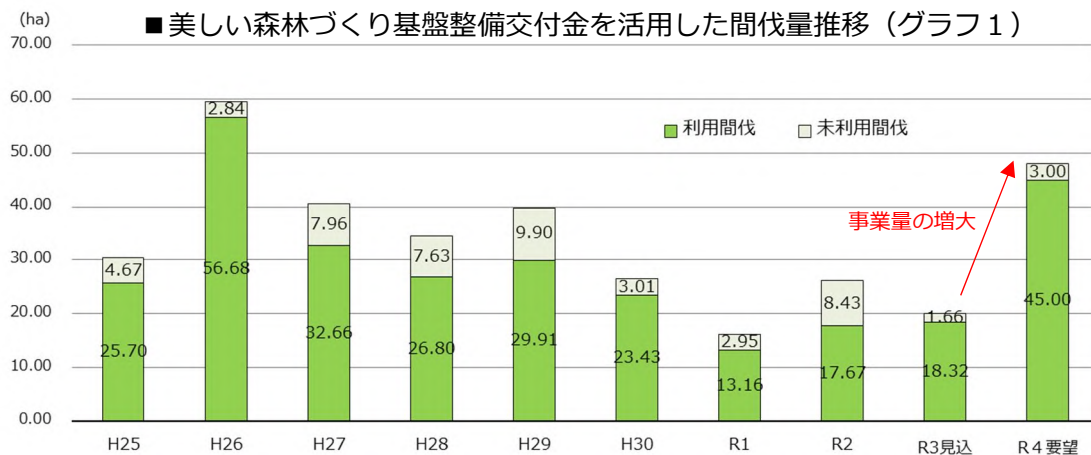
2. 保育補助に対する嵩上げ支援の追加

- ・「山形県森林施業支援事業（補助率68%）」による保育間伐に対して、「鶴岡市森林環境譲与税活用事業（補助率32%）」による嵩上げ支援を追加する。
- ・国庫事業「美しい森林づくり基盤整備交付金（補助率50%）」による保育間伐に対して、「鶴岡市森林環境譲与税活用事業（補助率34%）」による嵩上げ支援を追加する。

※ただし、山形県では令和4年度予算において「美しい森林づくり基盤整備交付金」への嵩上げ支援を検討しているとの情報もあり、県の支援内容によっては、今後、鶴岡市森林環境譲与税活用事業の補助率を変更する場合があります。

【見直しの背景】

- ・林業事業体の令和4年度要望量調査では、「美しい森林づくり基盤整備交付金」による間伐の事業量が大幅に増加する見込みであり、森林整備の促進には継続した嵩上げ支援が必要。（グラフ1）
- ・増加する事業量に対応するには、これまでの一般財源を財源とした鶴岡市間伐実施推進事業では限りがあることから、森林環境譲与税を活用できるようにするため鶴岡市森林環境譲与税活用事業の見直しが必要。ただし、森林環境譲与税の用途は、既存事業の単なる置換えができないため、見直し後の支援は木材の有効活用の観点から利用間伐に限定した要件とする。
- ・規模や地形などの理由により搬出できない不良木の除去及び淘汰には、保育補助（林齢35年生又は伐採木の平均胸高直径18cm未満）を追加し対応する。



参考資料②つづき **令和4年度木材生産支援事業 一覧** (朱書き：見直し箇所)

支援区分	補助対象林齢	要件等	国県等 事業 補助率	鶴岡市事業 補助率		事業体 負担	事業量 (前年度) 単位：ha	備考		
				鶴岡市森林環境 譲与税活用事業	鶴岡市間伐実施推進事業(廃止) 鶴岡市森林再生促進事業					
間伐補助	間伐	森林経営計画 有	荒廃森林緊急整備事業	100%	—	—	無し	未定(8 2)	変更なし	
			上記以外	68%	32%	—	無し	27(2)	変更なし	
		美しい森林づくり 基盤整備交付金 活用	利用間伐	50% ※	18%(追加) ※	18%(廃止)	32%	45(1 8)	追加 廃止	
			未利用間伐	50%	—	18%(廃止)	50%	2(2)	廃止	
保育補助	再造林	森林経営計画 有		100%	—	—	無し	5(5)	変更なし	
		森林経営計画 無		58%	10%	22%	10%		変更なし	
	下刈り	10年生 以下	森林経営計画 有		68%	10%	22%	無し	91(6 5)	変更なし
			森林経営計画 無		36%	42%	22%			無し
	除伐	25年生 以下	森林経営計画 有		68%	32%	—	無し	2(4)	変更なし
			森林経営計画 無		—	84%	—			16%
	枝打ち	30年生 以下	森林経営計画 有		68%	32%	—	無し		変更なし
			森林経営計画 無		—	84%	—			16%
	保育間伐	35年生 以下	森林経営計画 有		68%	32%(追加)	—	無し	2(2)	追加
			美しい森林づくり基盤整備交付金 活用		50% ※	34%(追加) ※	—			16%

※令和4年度から新たに山形県の嵩上げ支援が設けられた場合には、鶴岡市森林環境譲与税活用事業の補助率の変更を行う場合もある。

参考資料③ リモートセンシング調査の概要

目的

- ①航空レーザ測量による精度の高い測量データを取得し、森林資源の把握と森林簿データの更新を行う。
- ②測量データを活用した境界図案を作成し、地籍調査が未了の鶴岡・温海地区の山林部の境界明確化を進める。

県との共同実施の概要

○令和4年度実施予定

- ・実施内容：航空レーザ測量の計測のみを実施
- ・実施市町村：鶴岡市、酒田市、庄内町、遊佐町、真室川町
- ・負担割合：山形県 2 : 市町村 8
- ・負担額算定方法：県内で実績のある5社に参考見積を徴収し、5社見積額の平均値で算定

各市町の負担割合は、林業統計における私有林面積で按分

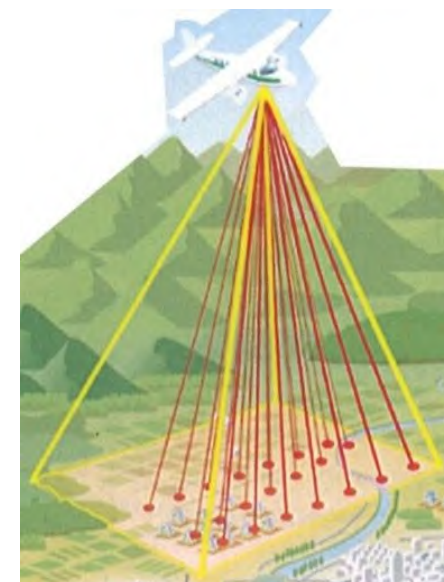
単位：千円

総額	県	鶴岡市	酒田市	庄内町	遊佐町	真室川町
214,940	42,988	108,330	32,671	10,317	13,756	6,878

- ・支出財源：森林環境譲与税基金を取崩して支出

○令和5年度実施予定

- ・実施内容：航空レーザ測量データの森林解析を実施（微地形表現図、傾斜区分図、既設路網の抽出、林相区分図、森林資源解析など）
- ・負担金予定額：54,454千円（県の見積額とR4負担割合から推定）



森林環境譲与税基金残高

森林環境譲与税基金残高（R3年度末予定）	114,077千円
R4積立額（予算）	+ 37,175千円
R4基金取崩（予定）	- 108,330千円
森林環境譲与税基金残高（R4年度末予定）	42,922千円

- R5負担金は、基金取崩しとR5譲与税を組み合わせで支出予定

森林環境譲与交付額

R1	R2～R3	R4～R5	R6～
30,255千円	64,292千円	83,198千円	102,108千円

※R1～2は実績、R3～は試算額